

# 日本ボストン会会報

発行所 日本ボストン会事務局 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6 Fax03-3792-6776

## 日本ボストン会創立20周年を迎えて

### 会長 法眼 健作

私は2010年～2012年にわたり本会の会長をさせて頂いた。ハーバード、MITのOBと総領事館、企業の在勤経験者が各々2年交代で会長を勤めるというもので、かつて総領事だった私がおおせつかったものである。

誠にソフィステイクートかつリファインされた方々の集まりであり、日本の最高のレベルの知見と経験を持った方々である。それはその筈である。日本の最高レベルの教育を受けた上で、ハーバード、MITに学ぶのだから、文字通り選ばれた人々である。その上、奥様方、御婦人方が素晴らしい。多くの場面で男性達より優れた見識を示された。何とか大過なく2年間を勤めることが出来たのも、幹事会の素晴らしい皆様方に支えていただいたおかげであり、心から感謝申し上げたい。

日本とボストンは表面に出ない深いつながりがあり、年々日米関係が成熟する上でそのようなつながりが足腰の強さとなって大切な意味をもっていると考えている。

例えばボストン日本協会は「Japan Society of Boston」が正式名称である。これは19世紀末から20世紀初頭にかけてボストンの最有力者達、いわゆるブラーマン達が日本文化の深さと繊細さにびっくりして「日本研究グループ」

をこしらえたのが発端である。そこには日本側はいなくて、ボストン人が集まって日本研究会としてこしらえたものである。これはすごいことで、米国各地にある後発の「U. S. -Japan Society of XXXXX」とは、そもそもの成り立ちが違うのである。私はこういう歴史的経緯は大切にしないといけないと考える。なればこそ、昨年3月11日の東日本大震災の際にボストンを中心とするニューイングランドから示された好意と支援は、心のこもった大きなものであったことは、皆様ご承知のとおりである。(9頁参照)

そういう中で、最近わが国からハーバード、MITに留学する学生の数が大幅に減少していると聞く。中国、韓国の学生、特に中国の兩大学のへの留学生の数は年々ほぼ倍々で増えているようである。あらゆる面での知見は国家の財産である。昨今のわが国を見ていると、政治、経済、外交、教育等々ほとんどの分野で安易に流れすぎているのではないかと懸念するのは私一人ではないと思う。

最後に重ねて皆様方に御礼を申し上げるとともに、次期会長のMIT OBの長島雅則様は活発にMITとの交流を実践しておられる方なので、当会とボストンの交流が増々進展するようよろしくお願い申しあげたい。

#### 日本ボストン会のイベント

10月13日(土)・14日(日)紅葉狩りの会、	11月22日(木)懇親ゴルフ会
11月10日(土)14:00～19:00 総会・20周年、	2013年1月6日(日)伝統芸能の会、
11月17日(土)美術と歴史の会、	2013年4月 観桜会

日本ボストン会の活動はホームページにてご覧下さい。 <http://www1.biglobe.ne.jp/~boston/>